

レディース健診について

子宮頸がんとは…

近年増加傾向にある女性特有のがんで、性交経験がある女性なら誰でもかかる可能性がある病気です。進行すると、妊娠・出産の機会を失うだけでなく、場合によっては命にかかわることもあります。

子宮頸がんは、自覚症状はほとんどありませんが、定期的な検診によって、がんになる前の状態を発見することができ、がんになる前に治療が出来る病気です。

◎子宮頸部細胞診検査

どんな検査？

子宮頸部の粘膜内部を調べて、ヒトパピローマウイルス(HPV)が“がん化”していないかを確認する検査です。

検査方法は？

健診機関ごとに若干の違いがありますが、下記のような流れで行います。時間はだいたい5分程度です。

- ①問 診：初潮年齢や生理の様子、妊娠・出産の経験の有無、自覚症状の有無など
- ②内 診：内診台にあがり、子宮頸部の状態・子宮の形・大きさ・表面の状態・炎症の有無などを確認します。
- ③細胞診：専用の綿棒やブラシで子宮頸部をこすり、粘膜細胞を採取します。稀に少し出血することはありますが、痛みはほとんどありません。
- ④検査終了：これで検査は終了です。

乳がんとは…

ここ数年増加傾向のがんで、女性の約20人に1人が生涯のうちにかかる病気とされています。

自覚症状がほとんどなく、乳がんの早期発見者のほとんどが検診による発見と言われており、早期発見出来れば完治の可能性もあり、乳房を切除せずに済む場合も少なくありません。

◎マンモグラフィ

どんな検査？ 検査方法は？

乳房内部を「**X線撮影**」で調べる検査です。

乳房を装置の撮影台に載せ、片側ずつ上下あるいは左右から圧迫して挟みこみ撮影します。

★圧迫する際に、痛みを感じるがありますが、リラックスして力を抜くことで痛みが軽減されます。

40歳以上の方は、マンモグラフィがお勧めです。

※乳腺が発達している20～30歳代の場合、乳腺密度が濃い
ため、異常との判別がしにくくなる恐れがあります。

※妊娠中の方は受けることが出来ません。

◎乳房エコー検査

どんな検査？ 検査方法は？

乳房内部を「**超音波**」で調べる検査です。

乳房にゼリーを塗って超音波をあて、乳房内部をモニターで観察します。

手に触れない小さなしこりも発見でき、しこりの性質もある程度わかります。

**20～30歳代の方には、マンモグラフィよりも診断
しやすいと言われています。**

※放射線被ばくの心配もなく、痛みもありません。

～年に1回、子宮頸がんと乳がんの定期的な検診をお勧めします～

